

令和２年７月豪雨災害 日田市復旧・復興推進計画

パブリックコメントでの意見 及び市の考え方について

[令和３年３月１５日]

日 田 市

パブリックコメントでの意見及び市の考え方について

－令和２年７月豪雨災害 日田市復旧・復興推進計画 R3.3.15－

※表中の『意見の内容』欄は、意見提出者の記述を可能な限り忠実に記載しています。

	意見の内容	意見に対する市の考え方 (考慮した結果及びその理由)
1	2 ページ I 被災者への支援 1 暮らし・住宅再建の支援 (3)次に備える防災体制の強化・見直し ④ 開設避難所の再確認と環境整備 について 三花地区の指定避難所は戸山中と三和小体育館ですが、平成 24 年・平成 29 年の九州北部豪雨災害時には多くの方が避難された。29 年は空調設備(エアコン・ポットクーラー等)が未整備のため、熱中症の危険性が医師より指摘され、空調設備が整っているアオーゼ・桂林公民館・夜明公民館に全員移動しました。また、避難者からは、テレビなども配置されてなく、情報がまったく無いことから、不安の声が多く寄せられていた。 特に、避難者は高齢の方が多いため、過去の経験を活かすためにも、網戸だけでなく体育館の空調設備等について、記述すべき。	<u>記述を一部変更します。</u> 今回の計画案の「網戸を設置するなど環境整備に努める」とは、熱中症対策やトイレ、居住スペースの環境、感染症対策等を考えております。 ご意見をいただきました、体育館の空調設備等の設置は困難な状況ですので、今後の災害対応において、避難が長期的になった場合は、空調設備の整った指定避難所へ移動していただく対応を考えております。 しかし、環境整備の目的を分かりやすくするため、また継続的に取組を行っていくこととしているため、一部記述を変更します。 情報提供につきましては、指定避難所に防災ラジオを持ち込み、防災ラジオを通して行います。 また、防災ラジオに通常のラジオ機能も備えていることから、ラジオからの情報収集をお願いしたいと考えています。
2	3 ページ I 被災者への支援 2 医療・福祉・保健衛生 (1)施設等の復旧 ①中津江高齢者生活福祉センター（デイサービスセンターなかつえ・生活支援ハウス安寿苑）及び津江老人福祉センターの復旧 について 「津江老人福祉センターについては、利用状況を踏まえて他の施設に機能移転を行うことが可能なことから廃止した。」とある。 地元住民への説明を一切行っておらず、振興協議会の正式な決さえも受けないまま、一方的に「廃止を決定」したと計画に書き込んでいるが、強引なその行政手続きについて、その経緯と個々の責任も明確にして表記することなしには認めがたい。	中津江地区・上津江地区に設置している福祉保健施設の移転等については、平成 31 年 1 月から振興協議会や自治会等へ説明を行っており、そのうち津江老人福祉センターの施設廃止については、一定のご理解をいただいたものと思っております。 公共施設は、将来世代の負担軽減を図るため適正な配置や効率的な管理運営を進める必要があることから、当該施設の利用状況を踏まえ、新たに建設する高齢者施設等を含め、地域に設置されている他の公共施設を利用していくこととしております。

	意見の内容	意見に対する市の考え方 (考慮した結果及びその理由)
3	1 4 ページ Ⅳ 社会資本等の復旧・復興 1 公共土木施設の復旧 (2)県管理の道路・河川等 ②河川の復旧 について 天瀬橋と市道の接触部分に多くの水量が当たり、周辺の家が大変な被害を受けている。水量は右岸より左岸（市道側）の方に、多く流れている。天瀬橋近くの市道の陥没は、天瀬橋に当たって、上の方に6m位上がり、下りの水圧で陥没したと思われる。そのため、水の流れをもっと中央に寄せられないか。 また、天瀬橋の接触部分に当たらないように水の流れを変えられないか。 今回右岸の方に石が多く残って左岸の方には少なかった。 そのため、右岸の底を深くした方がよいのではないか。 波消しブロック川用の物を道の下に置き、直接水が市道に当たらないようにしてもらいたい。	(玖珠川) 現在、河川管理者となる大分県が河川改修に向けた測量・設計・調査等に着手しておりますので、ご意見・ご要望につきましては、大分県へ伝えます。
4	1 4 ページ Ⅳ 社会資本等の復旧・復興 1 公共土木施設の復旧 (2)県管理の道路・河川等 ②河川の復旧 について (玖珠川・天ヶ瀬温泉街付近) 一級河川です。大雨が降っても安心安全な川であって欲しいと思います。 そのため川の流れを阻害するような物、大きな岩、石、建物のでっぱりなどが水の流れを変え、水位があがり大きな被害が出たのではないかと思います。(降水量が多かったにせよ)	(玖珠川) 現在、河川管理者となる大分県が河川改修に向けた測量・設計・調査等に着手しておりますので、ご意見・ご要望につきましては、大分県へ伝えます。
5	1 6 ページ Ⅳ 社会資本等の復旧・復興 1 公共土木施設の復旧 (3)国管理の道路・河川等 ②河川の復旧 について 庄手川と三隈川の合流地点の浚渫、砂、泥の蓄積によって生育した雑木等の伐採撤去を早期にお願いします。 三隈川と花月川の合流地点も(同上意見です)	ご意見・ご要望につきましては、河川管理者の国土交通省へ伝えます。

	意見の内容	意見に対する市の考え方 (考慮した結果及びその理由)
6	1 6 ページ Ⅳ 社会資本等の復旧・復興 1 公共土木施設の復旧 (3)国管理の道路・河川等 ②河川の復旧 について (庄手川・南友田町) 昨年の夏の豪雨で同じ日に2回続けて田畑が冠水しました。 多量の大木やごみ、砂利が入り込み大変な思いをしました。 近所の川沿いの家も庭まで冠水し、また今年も、もっと酷いことにならないかと心配しています。 それに対する処置は川の反対側に対しては応急処置として砂袋などの対応をしていますが、こちら側は何もありません。 今年も怖いので洪水に対する処置を梅雨時期前までをお願いしたいと思います。	(庄手川右岸) ご意見・ご要望につきましては、河川管理者の国土交通省へ伝えます。
7	1 6 ページ Ⅳ 社会資本等の復旧・復興 1 公共土木施設の復旧 (3)国管理の道路・河川等 ②河川の復旧 について (花月川・南友田町) 築堤などの工事がとにかく遅すぎると思います。 川幅を広げて、流れをよくし工事の早期着工を要望します。 水路を逆流して家屋に水が入ってきましたのでそこも考えてほしいと思います。	(花月川) ご意見・ご要望につきましては、河川管理者の国土交通省へ伝えます。 また、水路が溢れる原因の一つとして、雨水幹線水路等から分水する水門を増水時に閉めていないなども考えられるため、水門管理者に対し、豪雨時の水門の適正な管理について周知を行います。
8	1 6 ページ Ⅳ 社会資本等の復旧・復興 1 公共土木施設の復旧 (3)国管理の道路・河川等 ②河川の復旧 について (庄手川・南友田町) 護岸の土がむき出しの各所が多いので、コンクリートで側面の強化、川底を掘る、広くすることで水量を少しでも分散させてもらえるよう早期実施。 花月川と三隈川の合流地点付近を広げ、水流を逃がすような工事。 水流・水量の増加が見られたら、土のうを堤防のないところに設置。せめて梅雨時期までには河川からの水の流れ込みによる浸水を防げる対策を早急に要望します。	(庄手川右岸) ご意見・ご要望につきましては、河川管理者の国土交通省へ伝えます。

	意見の内容	意見に対する市の考え方 (考慮した結果及びその理由)
9	16ページ Ⅳ 社会資本等の復旧・復興 1 公共土木施設の復旧 (3)国管理の道路・河川等 ②河川の復旧 について 南友田町庄手川付近に水が上がりやすい。至所で穴有り。 令和2年7月 水害となった。堤防をオーバーして民家へ。 農業用倉庫は水 15 cm位、ヘドロ 10 cm、水田 10 cm以上 杉の生木が何本も流れ入んだ 川砂取りを実施されていますが、筑後川を夜明ダム迄、底掘り、川岸整備をお願いしたいです。	(庄手川右岸) ご意見・ご要望につきましては、河川管理者の国土交通省へ伝えます。
10	12ページ Ⅳ 社会資本等の復旧・復興 1 公共土木施設の復旧 (1)市管理の道路・河川等 ⑤橋梁の復旧 について 天ヶ瀬橋の復旧・復興について 1. 天ヶ瀬橋の原型復旧をしてもらいたい。 2. 河川の改修により天ヶ瀬橋をかけ替える場合も原形どおりとしてもらいたい 基本的には橋の中央には現在あるような踊り場を確保すること。 橋の両側にある彦星と織姫のモニユメントの現状復旧をしてもらいたい。	天ヶ瀬橋については、被災した高欄及び舗装について復旧します。また、舗装は、耐久性や今後の維持管理を考慮し、アスファルト舗装による復旧を行います。 なお、河川改修に伴い橋を架け替える場合は、現形を踏襲するよう、関係機関と協議を行いながら、進めてまいります。 破損したモニユメントについても復旧を予定しています。
11	14ページ Ⅳ 社会資本等の復旧・復興 1 公共土木施設の復旧 (2)県管理の道路・河川等 ②河川の復旧 について (玖珠川・天ヶ瀬温泉街付近) 今回の水害は、上流域の短時間の豪雨によることが大きな要因の一つと考えられますが、温泉街の河川の使用のあり方を見ますと、とても考えられないひどい使用が散見されます。 川を占有する構築物等に依り河川の川幅が極端に狭くなっています。 古くからの図面もあるでしょうから川の形状が不自然であれば当然、是正させるのが地域に住む人々の生命、財産を守ることになると考えます。 河川測量が終わったら、市は市なりの検証を早急にすべきで、その結果は必ず地域住民に公表すべきです。	(玖珠川) 現在、河川管理者となる大分県が河川改修に向けた測量・設計・調査等に着手しておりますので、ご意見・ご要望につきましては、大分県へ伝えます。

	意見の内容	意見に対する市の考え方 (考慮した結果及びその理由)
12 (1)	2 ページ I 被災者への支援 1 暮らし・住宅再建の支援 (4)天ヶ瀬温泉街への復興支援 について 玖珠川、天瀬温泉街の泉源一部破損の原因について 今回の豪雨は想定外であり、新湯山橋の崩落もあり、川底が深さ2m幅10mで、鉄骨で100mの長さでえぐれてしまい、温泉の泉脈が数か所切断したようです。 現在の温泉の状況は、温度が20度下がり、湧出量は2,3割減少した。 川がえぐられ、土砂が流出した部分は、まさに日田市復旧計画での天瀬温泉街復旧の第一番に実施願いたい。 つまり、えぐれた部分を、原則として全部、早急に埋め戻して頂きたい。	市としても玖珠川右岸側の温泉の温度低下等の状況は把握いたしております。 今回の豪雨災害により、右岸側の泉源井が破損して水が流入していることが温度低下の一因とも考えられることから、大分県において泉源井の石積みの復旧を予定しています。 また、河川内の埋め戻し等については、現在河川管理者である大分県が河川改修を検討中ですので、その検討結果によって温泉への対応が必要であれば関係機関と協議してまいります。
12 (2)	1 ページ I 被災者への支援 1 暮らし・住宅再建の支援 (3)次に備える防災体制の強化・見直し について 防災体制の強化・見直し 観測機器の性能アップすること、情報の共有を行うこと 避難指示・勧告のための情報収集に止まらず、行政情報は全て住民に公開すること。 ① 玖珠川の観測地点は、豊後森、天瀬温泉街付近の数ヶ所を観測撮影すること。その情報の精度を上げるため、観測地点などの精度を上げること。 ② 情報公開は、スマホなどSNSを使い住民が積極的に、避難等の判断ができる体制をとること。従来の無線放送などでは、情報が加工されやすく、瞬時には住民には届かない。	河川監視カメラや水位計などの観測機器の性能アップについては、必要により、改善に努めていきます。 また、災害時には、防災ラジオ等を活用し、ライフラインや道路状況等、住民にとって有用な情報の発信に努めるとともに、引き続き、有線テレビや市のホームページ等で情報を提供、公開していきます。 玖珠川の観測地点については、現在、国・県が上流の玖珠町「メルヘン大橋」から下流の三芳小淵町までの間の5箇所（メルヘン大橋、竹中、天瀬橋、小ヶ瀬、小淵第一樋管）に水位計と4箇所（メルヘン大橋、湯の釣、天瀬橋、矢瀬）に監視カメラを設置しています。 この観測地点の現況の観測値や映像については、国土交通省のウェブサイト「川の防災情報」や県のウェブサイト「雨量・水位観測情報」で、パソコンやスマートフォンで確認することができます。 併せて、大分県の「県民安全・安心メール」に登録することで、河川の洪水予報や水位情報を取得することができます。 また、市内の河川の映像は有線テレビで確認することができるのと同時に、防災情報については、市のホームページに、上記の「川の防災情報」、「雨量・水位観測情報」のほかに気象情報等のリンク集を掲載していますので、これらの情報収集をお願いするとともに、避難等の判断に活用していただきたいと考えています。

	意見の内容	意見に対する市の考え方 (考慮した結果及びその理由)
13	はじめに について 序文に、今回の災害による被災箇所の中には抜本的な解決に時間を要するものや、災害発生の可能性はあるものの抜本的に解決することが困難な場所もある とされていますが、この件については、解決が困難なので、先送りする。また、再度災害が occurs ですが、なんの対応はせずに、つぎの世代に任せると そのように読み取れます。 災害が起こる事を予測して、何の対策をしないと、行政は市民の生命財産を守ると言っているが、なぜ対策を怠るのですか。困難な場所と特定できていて、なぜ対策をとらないのですか。	今回の災害では、市内各所で河川の氾濫や土砂崩れなどが多発し、浸水被害や幹線道路の決壊など、地域を支えるインフラに甚大な被害が生じており、被災箇所については、早期の復旧に努めています。 復旧にあたっては、今回と同規模の災害に耐えうる整備も行うこととしておりますが、大規模災害が相次いで発生している本市の現状を見ますと、インフラの整備を着実に進めることはもちろんのこと、いつ起こるか分からない災害に備えて、市民一人ひとりの防災意識をさらに高めていき、地域防災力を向上していくことが必要であり、災害に強いまちづくり・人づくりを進めていくこととしております。
14 (1)	2 ページ I 被災者への支援 1 暮らし・住宅再建の支援 (4)天ヶ瀬温泉街への復興支援 について 日田市として、復興計画を進めていった五年後に、天ヶ瀬温泉街がどのような姿になっていることが望ましいと考えるか。	日田市として、天ヶ瀬温泉街に居住している方や事業を営んでいる方々が、住んでいてよかったと思える町になることが望ましいと考えています。 そのため、地域の方々が自ら描く「天ヶ瀬温泉街の将来像」の実現に向けて取り組む活動を支援していきたいと考えています。
14 (2)	観光地として復興していくには、住民の主体性と合わせて、外部人材の協力も不可欠だと考える。 天ヶ瀬温泉街のエリアを移住支援・創業支援の優遇制度などを設けやすくする為の特区として位置付けてはどうか。	天ヶ瀬温泉街を観光地として復興するためには、まずは地域の方々が自ら「天ヶ瀬温泉街の将来像」を描き、まちづくり活動に取り組むことが重要と思われ、その中で外部人材を含め多くの方の協力も必要と考えております。 日田市では、現在移住支援、創業支援に取り組んでおり、天ヶ瀬温泉街に限定した優遇措置等の創設は考えておりませんが、復興のための効果的な施策等を講じてまいりたいと考えております。
14 (3)	温泉や景観が天ヶ瀬温泉街に住む住民にとってはなくてはならないものになっている。日田市の財産として、温泉や景観を守っていくことも必要ではないか。	1300年以上の歴史を有する天ヶ瀬温泉は、周囲を山々に囲まれた谷あいにある小さな温泉地で、街の中心部には玖珠川が流れ、川や山の自然豊かな景観を有しており、日田市としても貴重な財産であると認識しております。 この貴重な財産を守るべく、災害からの復興を推進していきます。

	意見の内容	意見に対する市の考え方 (考慮した結果及びその理由)
15 (1)	1 ページ I 被災者への支援 1 暮らし・住宅再建の支援 (3)次に備える防災体制の強化・見直し について 本紙「はじめに」で語られている、災害に強いまちづくり＝災害があっても死者0と考えています。令和2年7月豪雨や平成29年7月九州北部豪雨で亡くなられた方は、発災前後の避難時だと記憶しており、災害が多い日田市だからこそ、先駆的な早期避難の仕組みづくりが必要だと思います。 「⑥災害ボランティアのネットワークづくり」の中に、「早期避難の周知」と書かれていますが、具体的にどのような動きをされる予定でしょうか。天瀬地区では、河川の復旧工事に長く時間を要しますが、梅雨は毎年来るため、ソフト面の防災対策をより具体的に進める必要があると思います。	計画案においては、「早期避難の重要性などについて周知を平時から図り」としています。これは、被災した天瀬地区住民の方から日頃の民生委員活動等の中で「早期避難の重要性」を繰り返し周知し、住民の意識を変えていく取組が必要というご意見もあったことから、今まで以上に平時から周知をしていくことが重要であると考え、計画案に記載したところです。 今後は民生委員児童委員協議会や自主防災組織の会合等において、要配慮者を含め警報時の早期避難の重要性を繰り返し平時から周知し、住民意識の啓発をしていこうと考えております。 なお、災害時には、降雨状況や予報を的確に把握し、市民へ周知するとともに、市民の皆様においても情報収集に努め、早期避難につなげていただきたいと考えています。
15 (2)	3 ページ I 被災者への支援 2 医療・福祉・保健衛生 (2)災害に備えた支援対策の確立 ①高齢者等見守り支援 について 災害時要援護者登録台帳を活用した支援活動等は、「平成29年7月九州北部豪雨災害 復旧・復興推進計画」でも述べられていたと思います。本紙でも、同様の内容が掲載されています。課題が残っているからこそ、再掲しているものだと思いますが、「平成29年」からの改善点があれば教えてください。	地域の方や避難を支援する方が、災害時要援護者（要配慮者）に対してどのような支援活動を行うかについては、地域において講話を行うなど、周知活動を行っておりますが、台帳の有効的な活用には至っていない地域も見られます。 そのため、民生委員が地域での要配慮者の掘り起こしを行う際に活用できるよう、災害時要援護者台帳登録制度についてのチラシを作成しました。また、避難行動要支援者の支援活動についての対応マニュアルの作成に向けた協議を進めているところです。
15 (3)	概要版の作成について 佐賀県武雄市は一枚にまとめた計画の概要版を作成しています。市民に内容を伝えるために、概要版があった方がいいと思います。	本計画の取組については、市民の方にわかりやすく内容を伝える必要があると考えております。 広く市民の方に対し、広報等を活用し、復旧・復興の取組について、お知らせする工夫を行うとともに、その中で概要版の必要性についても検討していきたいと考えております。
15 (4)	2 ページ I 被災者への支援 1 暮らし・住宅再建の支援 (3)次に備える防災体制の強化・見直し ⑥災害ボランティアのネットワークづくり について NPO との連携について 「平成29年7月九州北部豪雨災害 復旧・復興推進計画」では、「民間ボランティア団体等の活動支援 民間のボランティアセンター等との連携協力を図りながら、必要に応じて活動拠点の提供や物資の支援など、復旧活動のサポートを行う。」の文言が入っていました。本災害でも市から拠点借用などの支援をもらっていることもあり、そうした文言を入れていただきたいと思います。	災害ボランティアネットワークづくりの項目の中に「民間のボランティアセンター等との連携協力を図りながら、復旧活動のサポートを行う」と記載しております。 これは、民間ボランティアへの活動支援も災害ボランティアとのネットワークづくりの一環と捉え、一体的に取り組む必要があると考え、項目を一つにしたもので、記述の変更は行いません。 ご意見である「市から拠点借用などの支援」についても、復旧活動の支援の一つと考えており、支援を行っていきます。

	意見の内容	意見に対する市の考え方 (考慮した結果及びその理由)
16	2 ページ I 被災者への支援 1 暮らし・住宅再建の支援 (4)天ヶ瀬温泉街への復興支援 について 今回甚大な被害にあったことで復興を考えるにあたって“湯治湯天ヶ瀬温泉”としてイメージチェンジするよい機会だと思います。 ・今湯治湯を望む人がたくさんいる。新しい感性の湯治湯にすれば若い人も多く集まる。 ・多くの人が長期滞在すれば地産地消の活性化、スーパー、コンビニ等町中の経済効果あり ・滞在している人たちが五馬、塚田の自然、高塚地蔵、淹めぐりなど、余暇を楽しめば心と体の健康につながり、温泉街だけでなく天ヶ瀬全体の発展につながっていく。 ・温泉街を流れる玖珠川を照明などで天川や星空をイメージする演出をする。このことでかわのほとりを散策したり、イルミネーションライブなどを企画してみてもいいかなと思います。	天ヶ瀬町には、温泉だけでなく美しい自然や高塚愛宕地蔵尊など市内外に誇れる資源がたくさんあります。 天ヶ瀬温泉街の復興を進めるうえで、温泉街周辺にある資源の活用も考えていく必要があると認識いたしております。 今後の天ヶ瀬温泉街のイメージ等については、まちづくりの主体となる地域の方々が自ら将来像を描くことが重要です。 日田市といたしましても、地域の方々が描く将来像の実現に向けた取組を支援していきたいと考えています。
17	2 ページ I 被災者への支援 1 暮らし・住宅再建の支援 (4)天ヶ瀬温泉街への復興支援 について 水害にて復興・復旧との事ではありますが、衰退の一途をたどっている天ヶ瀬の現状で復旧したところで活性化は無理なことです。同じ工事をするなら観光地としてのやり方があるのでは。 移住者募集（空地利用、空家利用）	天ヶ瀬温泉は、豊後三大温泉の一つとして、これまでも観光地として賑わってきたところがあります。 今後、復興の取組を進める中で、地域の方々が自ら描く将来像が策定され、新たな観光施策等のアイデアが盛り込まれれば、その実現に向けた取り組みを支援する中で考えていきます。 また、日田市からの人口流出が続く中、移住促進は重要な施策の一つと考えています。 市では、空き家バンク事業により空き家所有者と利用希望者のマッチングを進めるほか、空き家バンク制度を利用して移住した方には補助を行うなど、移住促進に取り組んでいるところです。 移住促進については、市内全域を対象として取り組むべきものと考えており、地区を限定した施策は行っていないが、移住者の受入れに積極的に取り組む地域を「移住受入れ地域」として登録し、地域が行う移住希望者との交流会や空き家バンク登録促進活動等の支援を行っています。

パブリックコメント数：17名23件